

## 2023年度 第2回定例理事会議事録

日時:2023年5月1日(木) 14:00-15:00

場所:ピアマリン1階 日本人会ミーティングルーム (Web参加あり)

会議出席者:(理事) 権田、伊藤敏江、冨江、久住、長藤、スミス、渡辺・ドミンゴ、デリグイン、山浦、野口、伊藤慎太郎、須永、井上、今津  
※リモート参加 時任、ペレズ、渡辺奈々

欠席者: 山口

傍聴: 事務局2名

議題:

1. 2023年度執行体制
2. 2023年度活動計画
3. 定時総会振り返り
4. 総領事館より
5. その他

(尾形首席領事よりご挨拶)

コロナも終わり、コロナ後の新しい社会活動も始まりました。秋祭りの成功、東日本大震災時の募金活動からも日本人会の知名度は全米を見渡しても類を見ない存在だ。今後はコロナで得た教訓をもとにコロナ後の新しい形の社会への貢献を続けていって欲しい。

2023年度執行体制について

権田会長より各理事の各部、並びに役職の任命が行われた。(内容は別紙のとおり)

野口総務部長が理事会の司会を担当

各理事による自己紹介

(2023年度 理事会開催にあたり)

会費について

法人の会費についてはマトリックスに合わせて算出、個人会員については年会費\$40。個人会員には8つのカテゴリーがあり、今回9つ目に島外サポーターというカテゴリーが追加された。そのカテゴリーによって会費も違ってくる。

会員のメリットについて

会員のメリットを今後は増やしていきたい。会員に魅力のある日本人会であり続けるために皆で考え

ていきたい。

日本人会会員保険について  
会員のメリットの一つとして行っている。

理事会について

原則的には毎月第3木曜日の午後で開催している。日程については第3週の開催は決定とし、曜日は今後、伝助で皆のスケジュールを確認して決定する。

総務部より理事会開催の案内をメールで送信する。各部長には報告書を前々日までに提出して頂く。重要なこととして全理事の3分の2以上の出席をもって理事会が成立となる。現在は16名の理事なので11名以上の参加が必要。

理事・幹事は長くオフアイランドする場合、複数回理事会を欠席する必要がある場合は事前に予定を事務局に連絡する。

会計について

サイナーは所定の6名が行う。

事務局へのメール

様々なメールが事務局へ届くが、総務部長が会長と相談して返事をする。

一斉メールについて

各部から会員へ一斉メールを送信する場合、作成はそれぞれの部で行い、総務部長、または渉外広報部長が判断して会長名で送信する。配信許可について判断が難しいものについては、会長判断、理事会にての審議を要するものもある。

サークル活動について

事務局にて随時、会員より受け付ける。総務部報告として理事会にかけ、承認を得たもの一斉配信などで会員へ告知、ご案内をする。現在もいくつかのサークル活動が行われているが内容によってはお断りするものもある。

会議室について

各部会で使用する場合は事前に事務局の許可を取ること。

〈質疑応答〉

・事務局のメールアドレスが3つあるが、全てに送信する必要があるのか？

→基本的には最初の一つで良いが人によっては受信不可となる場合がある。うまく受信ができている場合は最初の1つでよい。

年間計画について

今回の第2回の理事会は各部の割り振りを行うため、実際の理事会は5月第3週に行う。その際に各部の活動計画を発表して頂く。それまでに各部のメンバーで内容を決めておくこと。過去の資料を参照して各部の年間計画を作成すること。

日本人会の守秘義務に関する同意書

今後、理事会での活動の中でコンフィデンシャルな内容など第三者への内容の開示を行わない旨、同意書にサインをして頂く。

〈質疑応答〉

・日本学校への寄付について全額寄付ではなく、何パーセントかは日本人会に残すことを検討するべきではないか。

→前年度についても日本人学校への寄付の金額については議論がされたところではあるが、日本人学校のサポートは必要だがどこまでのサポートをするのかは今後も理事会でも考えていかなければいけない。

→日本人学校も生徒数が減り、厳しい経営が続いている。これは土台である日本人会会員の数が減っていることでもあり、会員を増やすことができれば、その結果として日本時間学校への寄付も増えることになる。会員を増やすことを頭に入れて様々な行事の際に勧誘をする必要がある。

最後に写真撮影を行った。

以上